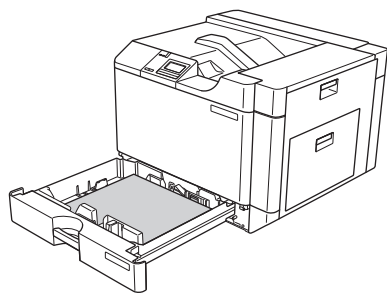


# 用紙をセットする



用紙のセット方法を説明します。

## 紙種別給紙口一覧表

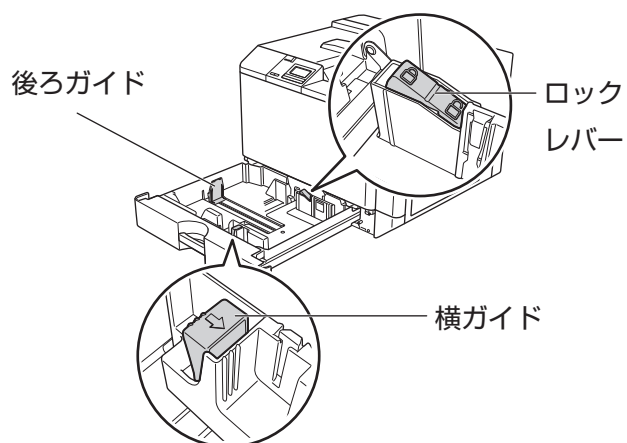
### GE6000シリーズ

紙種	用紙の厚さ (g/m <sup>2</sup> )	給紙口		両面印刷
		手差しトレイ	本体カセット・増設カセット	
普通紙	64 ~ 69	○	○	○
再生紙・カラー上質紙	70 ~ 80	○	○	○
両面上質紙	81 ~ 94	○	○	○
厚紙	95 ~ 128	○	○	○
厚紙 2	129 ~ 199	○	○	×
ごく厚紙	200 ~ 256	○	○	×
はがき	—	○	○※	×
封筒	—	○	×	×
ラベル紙	—	○	×	×
ラベル紙 (厚手)	—	○	×	×
耐水紙	—	○	×	×

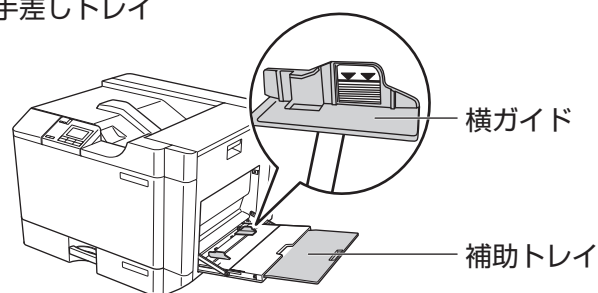
※ オプションの小サイズアダプター使用時のみ使用可能

## 各部の名称

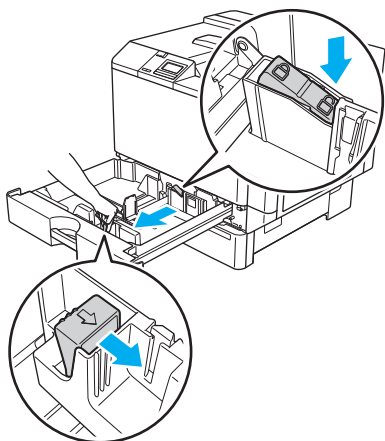
カセット (本体カセット / 増設カセット)



手差しトレイ



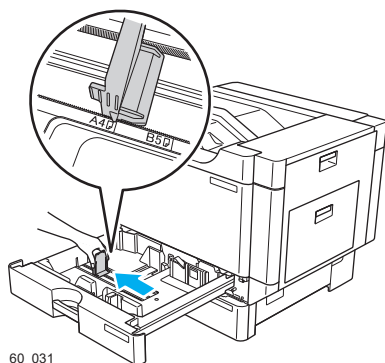
## カセットへの用紙セット（本体カセット／増設カセット）



60\_030

1. カセットを引き出し、奥側のロックレバーの解除（△）側を押し、横ガイドをつまみながら用紙が入る幅に移動します。

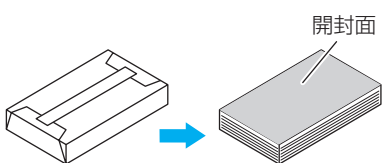
- 印刷中はカセットを引き抜かないでください。



60\_031

2. 後ろガイドをつまみながら、セットする用紙サイズの位置に固定します。

**ポイント** クリップのツメがセットする用紙サイズの位置にあることを確認してください。

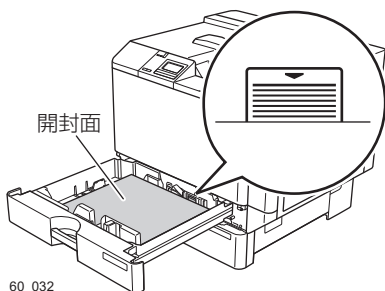


60\_295

3. 用紙の開封面を上向きにしてそろえ、カセットに入れます。

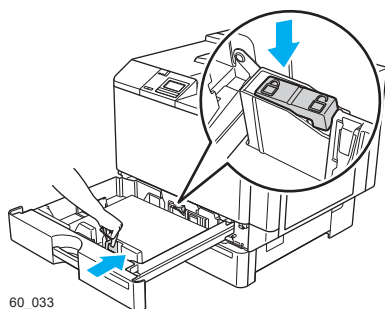
- 用紙は、横ガイドの▼マークより下になるようにセットします。

**ポイント** セットできる用紙の量は、カセットの種類や用紙の厚さによって異なります。ご注意ください。



60\_032

4. 横ガイドをつまみながら用紙に軽く当たる位置に調節し、ロックレバーのロック（△）側を押しして固定します。



60\_033

5. カセットを奥までゆっくり差し込みます。

- カセットを勢いよく押し込むと中の用紙がずれ、斜め送りや紙づまりの原因になります。

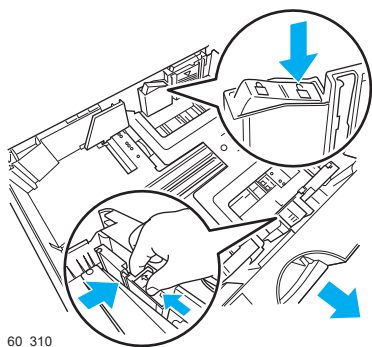
**⊗ 注意**

• 他のプリンターや複写機で印刷した用紙はセットしないでください。紙づまりや故障の原因になります。

## カセットへの小サイズ用紙セット

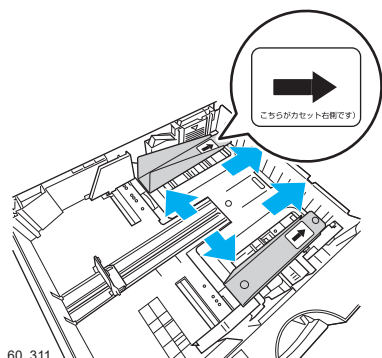
カセットにオプションの「小サイズアダプター (GE-SADP)」を取り付けて、B6、A6、はがき、幅 182mm 未満の不定形サイズ (最小幅 100mm × 長さ 148mm) を給紙します。

1. カセットを引き出し、奥側のロックレバーの解除 (△) 側を押し、横ガイドをつまみながら広げます。



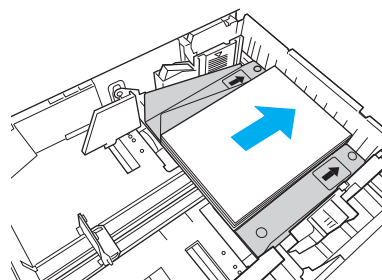
60\_310

2. 小サイズアダプターをカセットの横ガイドと側面に接触するように手前と奥側にセットします。



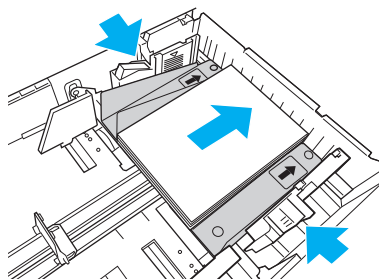
60\_311

3. 用紙をそろえ、カセットの側面に触れるようカセットの中央にセットします。



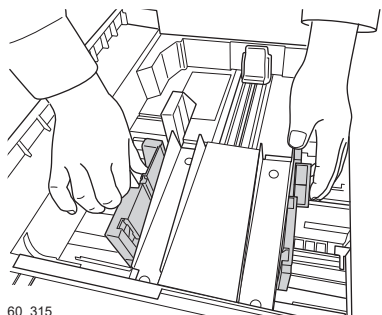
60\_313

4. 横ガイドをつまみながら、用紙が左右均等に小サイズアダプターに挟まれる位置までゆっくりと移動します。



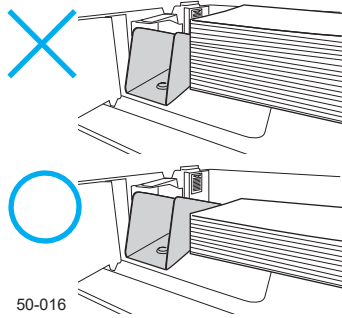
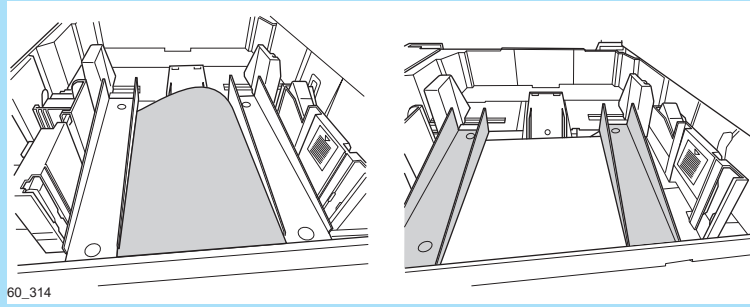
60\_312

横ガイドを動かしにくいときは、奥側の横ガイドと一緒に操作するとスムーズに移動できます。



60\_315

**ポイント** ・ イラストのように用紙がたわんだり、カセットの側面と小サイズアダプターの間  
にすきまができたときは、**3.**に戻って再度セットしてください。

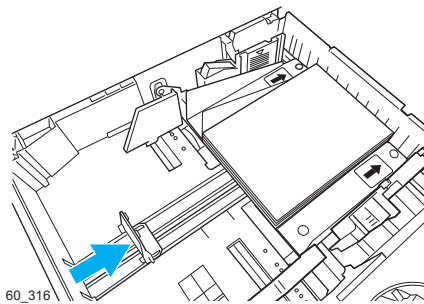


用紙の後端が小サイズアダプターの高さを越えていた場合は、セットする用紙枚数を減らしてください。紙づまりの原因となります。

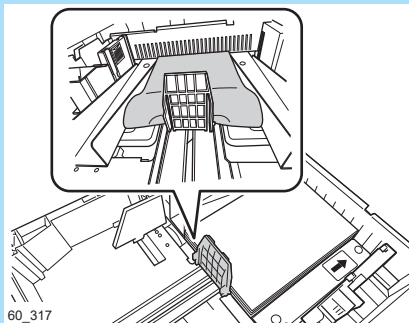
小サイズアダプター使用時の給紙枚数は、下記を参照してください。

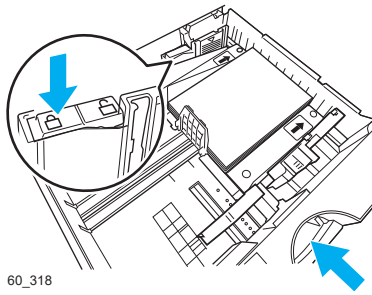
用紙の種類	紙の厚さ	用紙サイズ	給紙枚数
普通紙	64 ~ 94g/m <sup>2</sup>	B5 縦	B5 縦・A5 縦
厚紙	95 ~ 157g/m <sup>2</sup>	A5 縦 B6 縦 A6 縦 フリー (幅 100 ~ 187mm × 長さ 148 ~ 432mm)	470 枚以下 (64g/m <sup>2</sup> ・高さ 40mm 以下) 250 枚以下 (128g/m <sup>2</sup> ・高さ 40mm 以下) B6 縦 410 枚以下 (64g/m <sup>2</sup> ・高さ 35mm 以下) 220 枚以下 (128g/m <sup>2</sup> ・高さ 35mm 以下) A6 縦 300 枚以下 (64g/m <sup>2</sup> ・高さ 25mm 以下) 150 枚以下 (128g/m <sup>2</sup> ・高さ 25mm 以下)
はがき	—	はがき (100 × 148mm) 往復はがき (200 × 148mm)	100 枚以下

**5.** 後ろガイドをつまみながら、用紙にぴったり押し当てます。



**ポイント** ・ イラストのように用紙がたわまないようにセットしてください。





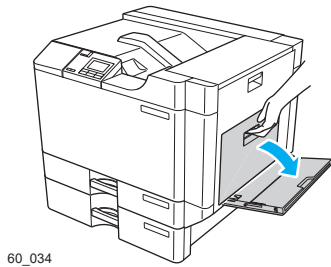
6. 小サイズアダプター、カセットのガイドと用紙にすきまがないことを確認し、ロックレバーのロック (Ⓐ) 側を押して固定します。

7. カセットを奥までゆっくり差し込みます。

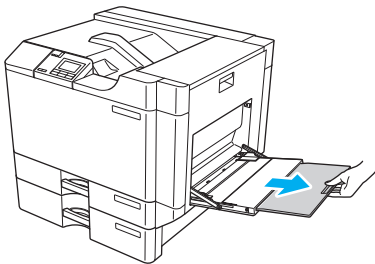
- カセットを勢いよく押し込むと中の用紙がずれ、斜め送りや紙づまりの原因になります。
- 不定形サイズ of 用紙に印刷する手順は、下記を参照してください。

## 手差しトレイへの用紙セット

1. 手差しトレイを開けます。

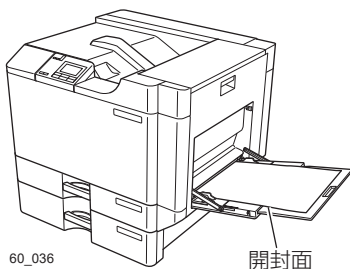
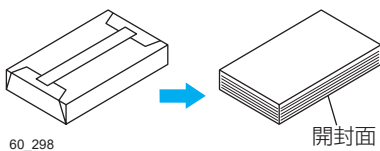


A4 横送り (210mm) より長い用紙をセットする時は補助トレイを伸ばします。



**💡ポイント** 特殊紙 (129g/m<sup>2</sup> 以上の厚紙、ラベル紙、はがき、封筒など) を給紙する場合は給紙圧変更レバーを操作します。

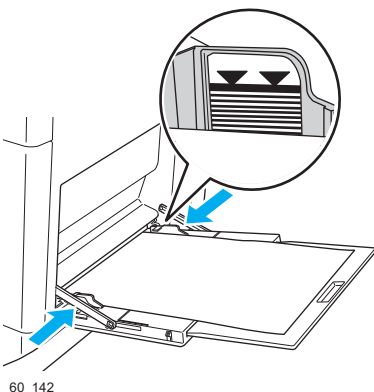
2. 用紙の開封面を下向きにそろえ、手差しトレイにセットします。



3. 左右の横ガイドを、用紙の端にぴったり当たるように調整します。

- 用紙は、横ガイドの▼▼マークより下になるようにセットします。

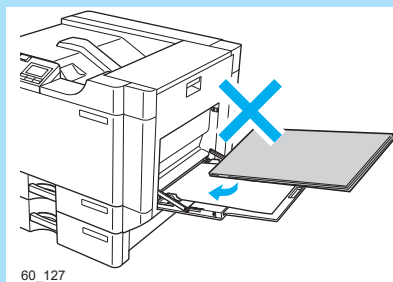
**💡ポイント** 横ガイドと用紙の間にすきまがあると、斜め送りや紙づまりの原因となります。





ポイント

- 手差しトレイに用紙が残っている場合は、用紙を補充しないでください。複数の紙が一度に給紙され紙づまりの原因となります。用紙を補充するときは、残っている用紙をいったん取り出して補充する用紙と一緒に揃えてから、手差しトレイにセットしてください。



60\_127

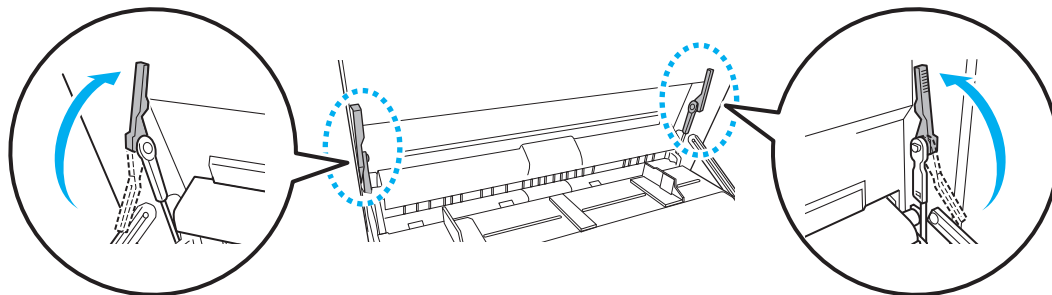
手差しトレイから特殊紙を給紙するときは…

手差しトレイから特殊紙（129g/m<sup>2</sup>以上の厚紙、ラベル紙、はがき、封筒など）を給紙する場合は、正面側と背面側の給紙圧変更レバーを操作します。

⊗ 注意

- 正面側と背面側の給紙圧変更レバーは、両側同じ状態で使用してください。片側が倒れ、片側が起きている状態で給紙すると、斜行や紙づまりの原因になります。
- 特殊紙を手差しトレイから給紙する場合は、給紙圧変更レバーを倒してください。普通紙、推奨用紙を手差しトレイから給紙する場合は、給紙圧変更レバーを起こしてください。

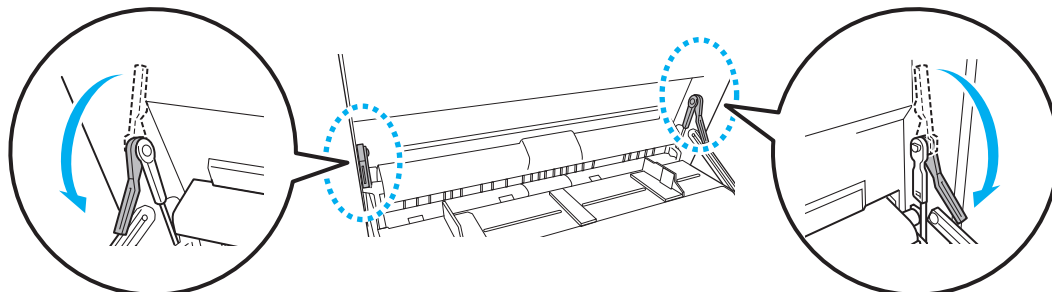
普通紙を給紙する場合:給紙圧変更レバーを起こす



60\_282

(適応紙種)・普通紙(64~94g/m<sup>2</sup>)  
・厚紙(95~128g/m<sup>2</sup>)

特殊紙を給紙する場合:給紙圧変更レバーを倒す



60\_357

(適応紙種)・厚紙(129~256g/m<sup>2</sup>)  
・はがき、封筒、特殊紙  
・普通紙、厚紙で手差しトレイからの給紙がうまくいかない用紙

- 手差しトレイを開閉すると、普通紙の状態(給紙圧変更レバーが起きている状態)に戻ります。